

石城時報

石城郡平野町平野四丁目
印刷所 石城郡平野町平野四丁目
電話 二四〇
代印所 石城郡平野町平野四丁目
電話 二四〇
代印所 石城郡平野町平野四丁目
電話 二四〇

同潤會を解散して 共済事業助成會

昨夜發會の相談會 活動寫眞で趣旨宣傳

平町同潤會及び共済委員は十三日午後七時から平町役場に集合し、各種の救済及救護の徹底に努むること、平町共済事業助成會創立の件について協議を遂げた結果同潤會を解散し平町共済委員の事業を助ける意味で前記團體を組織する事になった。事務所は町役場に置き有志の寄附により大体左の事業を行ふ事を申し合はせた。

植松少將の講演會開催

講演會開催

一、細民に定時又は臨時の救済場、在郷軍人分會、青年團で二、細民子弟の教育に關する事、三、細民に對する一般生活状態並に生業を調査し相談に應ずること、四、保護亦は指導を要する者に對しては調査の上適切な方

内郷村附近に 泥棒毎夜出沒

今曉二名を捕ふ

内郷村、宮附近に最近毎夜の所不定無職伊藤友次(三九)で十如く盜賊が出沒するので同村駐四日午前二時二十分頃地内畑在佐藤、林兩巡査が十四日未明から玉葉十貫匁を窃取したもの變装して警戒してゐると盗んだ一名は同村大字宮字平太郎居住品を持ち歸る途中の二名の泥棒、耶麻郡猪苗代町字新堀生れ須川を取捕へた。一名は秋田縣山本秋夫(三三)で午後十時半頃同字郡藤琴村字下町九一一生れ當時住雜貨商菅原タカ方から敷島十六

柴田技手の妙案奏効

妙案奏効

石城郡植田町字高倉部落約三十戸は全部が農業に従事してゐるが、昨年までは農事實行組合がありながらも借金で手も足も出ず田畑への施肥さへ満足に出来ぬといつたあまりに徹底した困難振りを發揮してゐたが、昨年那農會の柴田技手(植田町駐在)が起死回生の秘薬を授けたところ薬効たちまち現れて昨秋か

友達を救はふとして 少年二名危うく溺死

年少者は遂に絶命

四倉町字栗木作一三番地農佐割方の減收を豫想し悲鳴を擧げ久間安吉長男一男(五ツ)は十三でゐる、これについて米山技手(九ツ)と共に附近小川で水遊び中一男は誤つて深淵に入り流されたのを武夫が発見救助せんとしたが力及ばず兩名共溺死せんとしたのを通行人が発見武夫は救助されたが一男は絶命した。

石城米作況

石城地方

の水稲は一般に植付遅く目下有効分蘗期にあるが、昨今の雨天続きに生育充分ならず、その上各地に稻熱病、螟虫、泥覆虫等

藝妓遊びがすたれ 酌婦女給全盛時代

平地方イロの經濟化

高倉部落の疲弊困憊は何が原因であるかを調査した結果同部は畑よりも田が多いが然しそれも自給自足の程度であり、購入してゐた、それが積り積りつて結局身動きのとれぬ窮地に自らはいまさらの窮地から一日も早く脱出さすべく先づ畑には代給を奨め出稼を得る限りこれを常食させ而して米はなるだけ販賣して極力収入の増加を計つた結果反當り十圓近くが増收を見るに至つたのであるが、こうした事は要するに出来る事を行つたもので何れも起死回生の秘薬でもあるまい云々

注意を與ふ

接客業者に

四倉警察署では海水浴の期が近づいたので十四日午前十時から接客業者に注意を與ふ。馬鹿を見た久野ひさ氏

少年溺死

激浪にさらはれ

石城郡豊間村大字下町加藤よし五男信男(九ツ)は十三日朝八時半頃江名町折戸海岸で遊戯中激浪にさらはれ溺死した。

本當の妻なら 人質にする筈なし

詐欺にかゝつた宿屋

石城郡湯本町字高倉五七深堀タ今朝代(二三)と書いたが九月に三日女を連れて仙臺市肴町旅館病院に入院中であるから金を持たずして来たると稱し女を置いて出か

小僧家出

親戀しさに

平町三丁目料理店藤彦事大乗(十五)は去る四月から千葉縣銚子町唐表商宮田忠吉方に小僧として雇はれてゐたが親が戀しく某商店に二百圓の借金があるなり十日家出したが懐中無一文のに乗じ保証させ受取つた金はなので十三日午後二時頃成田町全部他方面に廻した事昨報の如くであるが、某商店と共に馬鹿田に救はれた。

傾城トンネル

十五日着工

常磐線湯本、綴間傾城トンネル東入口附近の崖崩れ復舊工事につき過般中山本省技師調査を行つたが、今回入札の結果工費一千二百圓で平町堀江工業が落札し十五日から着工し来月二十三日完成の豫定である、最初コンクリート補填工事とするはずだったが豫算削減のため危険箇所

搜索願一件

平町五丁

目生れ當時大阪市道頓堀カフエーウラ、事加賀定治方女給佐藤きよ(二二)は去る八日情夫と家出したがウラ、方では人氣女給に今更逃げられては店がさびれて商賣が出来ぬとて、亦東京市外長崎町並木村富一(二八)は東京丸之内アメリカ俱樂部につとめてゐる實兄清之に自殺する旨の遺書を送つて家出したが、平町方面にゐるらしいとて何れも十二日平署へ搜索方願ひ出た。

開業御挨拶

暑さ日に増し厳しき折柄皆様には益々御健勝の段賀し奉ります。扱て弊店去る三月類焼休業中の處漸やく建築が出来上りましてたので十五日から開業の運びに至りました倍舊の御蟲負御引立に預り度く以紙上御願ひ申上げます。

御料理 春乃家

電話三一〇番

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X 光線科

安齊外科醫院

電話四七五

家傳秘法腫物湯

のんで効く
はれ物の妙薬
主一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●林巴腺の腫れ
●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前後
効一●等●よし

●特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き痕を残さず美容上最適の治療劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢

特約店
平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店
植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店
湯本町 岩瀬屋藥店
腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野 健生堂

専門内科一般

〔内科ハ何デモ診療致マス〕
呼吸器病バカリデハアリマセン

川井内科診療所
醫學士 川井重子
女醫 川井安子

藤沼醫院
平町紺屋町
電話平國五〇七番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科専門

大和田醫院
平町南町
電話一七〇番

誠意 堅實 許免臣大藏大 共存共栄

磐城無盡

平町山永 電話三一〇番

腸胃 専門 内科
十二指 腸胃病 胃性病 腸胃病

梅棗 皮膚病 淋病 婦人病 専門

松村 院醫科 腸胃病 胃性病 腸胃病
(七〇一話電) 町南町平

心安積蓄 利低通融

三本信用無盡

許免臣大藏大 社會盡無用信本湯
番七四話電

嗣子茂儀永々病氣之處療養不相叶
昨十二日午後零時二十分死去致候
間御通知に換へ此段謹告仕候
追而葬儀は来る十五日午後二時自宅出棺松堂院に
於て告別式執行仕候
昭和七年七月十三日

父 森本盛一
親戚總代 原精一
加藤丈夫

夏物新柄澤山取揃へた!!!
平町 吉田屋吳服店の

四倉出張大賣出し
期間 七月十三日ヨリ 十五日マデ 三日間
四倉町新町

山田屋方
本年も相變らず御引立願ひます

廣告

新任外科部長
内木學士來任

●七月十一日ヨリ毎日診療ニ従事ス

内臓外科 醫學士 内木宗八
整形外科
泌尿器科
昭和七年七月

平町新川町十九番地
外科 產婦人科 木村病院
電話一六四番